すだち

第40号
平成27年6月

発行者／社会福祉法人すいせんの里
「すだちの家」
「支援センターすだち」
〒919-0312
福井市東大味町9号15番地
TEL 0776-41-3950
FAX 0776-41-3935
発行人／村田　嘉孝
編集人／岡本　哲志

親子一泊旅行

成人を祝う会

秋の遠足

ふれあい祭り

秋の遠足

山口　弘美

平成26年10月1日（水）に秋の遠足がありました。

秋晴れのさわやかな天候にも恵まれ、今回は入所・通所全員でSSTランドにてバーベキューを行いました。

準備のため先発で職員が炭をおこしに行ったのですが、着火が早すぎてみんなが到着した頃には火が弱くなり肉がなかなか焼けませんでしたね。鉄板を囲みながらじっと我慢をしていた利用者さん達には、大変申し訳なかったと反省しきりでした。肉やウインナー、焼きそば、そして厨房職員の手作りのおにぎりをあっという間に全部平らげてしまった班や、ゆっくりと味わいながら食べていた班と様々でしたが、大自然の中で美味しいものを食べ利用者さんの気分もリフレッシュできたのではないでしょうか。

また帰りにはコンビニでおやつを買い、近くの公園で食べています。

みなさん本当にお疲れ様でした。

ふれあい祭り

昨年から引き続き、実行委員の立場でふれあい祭りに係わらせてもらいました。

今年からの試みとして利用者さんのダンス披露や、描いてもらった絵を掲示したりしています。利用者さんに今までより多く、ふれあい祭りに係わってもらっていました。ダンス披露は毎年やってもいいかもしれません。絵のほうでは、利用者さんの器用な一面に触れることができました。

模擬店の盛況ぶりは相変わらずです。利用者さんのほとんどがお腹いっぱいになったと思います。

ただ、模擬店のメニューはここ数年変わっていません。ここは来年の改善点です。

気のせいかもしれませんが、昨年よりもお客さんが多かったように感じました。すだちの家という施設に外部の方が『ふれあう』ことのできた一日だったと思います。

岡本　哲志

新任職員紹介

昨年9月からすだちの家に職員として入りました庭本直人です。

すだちの家での体験は初めて出会うものばかりで、驚くことや不思議に思うことがとても多いです。利用者さんとどう接するのか、何を求めているのか毎日悩むことが多いですが、少しずつでも利用者さんとの距離を縮め、快い生活の助けになれるよう精一杯頑張りたいと思っています。

今後ともよろしくお願いいたします。

昨年12月からすだちの家で働くことになりました野村隆行です。

新しい環境の中で、戸惑うことも多いですが、一日も早く職員の方々や利用者の皆さんにとけ込んで仕事がしたいです。利用者さんとのコミュニケーションは、何がよかったのか、何がいけなかったのか次はどのようにすればいいのか、先輩を見習いながら経験を重ねて自分なりの接し方を日々模索していきたいです。精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

親子一泊旅行

宝泉　法明

今年は、2年に1度の親子一泊旅行を開催しました。普段は施設での生活が中心でなかなか外泊することも出来ない利用者さんも楽しみにしているようで、旅行前になるとソワソワします。個人的には毎回恒例の保護者の方々との懇親会が中止となり少し残念でしたが、今まで参加していなかった利用者さんも初参加し、大いに盛り上がった利用者さん、保護者の方々、職員みんなで楽しく一緒の時間を過ごせたと思っています。

カラオケでは旅館の仲居さんと利用者さんが一緒に踊ったり、ビンゴゲームも最後まで盛り上がり、普段はなかなか見られない利用者さんや保護者の方々の素敵な笑顔も見られ大満足しています。職員や保護者の方々のご協力により、旅行全体で大きなトラブルもなく無事に終えることが出来、本当にありがとうございました。

（一財）三谷市民文化振興財団 様寄贈

（一財）三谷市民文化振興財団様より、すだちの家にＡＥＤとソファーと空き缶作業の物置を寄贈していただきました。

施設の増築に伴いソファーをいただいたことで安定した空間ができ、ゆっくりくつろぐことができています。

ＡＥＤにつきましては、定期的に講習を受けており、緊急処置に対処できるようにこれからも、訓練していきたいと思います。

空き缶作業の物置は、いつも野晒しになっていた潰し終えた空き缶や、洗浄後の空き缶の保管場所ができ大変助かっています。

成人を祝う会

暁　美樹夫

平成27年2月13日（金）に、支援センターすだちの2階におきまして、「平成26年度　成人を祝う会」を開催しています。今回は、通所利用者の村越智行さん、石田源雅さん、柳川晴洸さん、門脇美貴さんの4名が新成人となられて、ご本人の家族、4名の出身校である福井南特別支援学校の冬井先生、嶺北特別支援学校の森井先生、利用者の方々、保護者の方々、職員の約80名が参加されたお祝いの会となりました。

最初に新成人が大きな拍手で迎えられながら入場して、立派なステージに立ちました。

村田嘉孝理事長のあいさつ、冬井先生と森井先生の祝辞で祝宴に入り、和やかな雰囲気で皆さん食事を楽しまれました。余興のカラオケでは、皆それぞれが得意な歌を熱唱していました。

最後に新成人のこれまで20年の生い立ちをスライドで上映しながら、それぞれご家族からお祝いのメッセージがありました。映像では、私達の知らない小さな頃からの姿も見ることができ、家族や周りからたくさんの愛情を受けて立派に成長してきた様子がうかがえ、今日を迎えられたことを本当に嬉しく思いました。映像では分からないこれまでの厳しい道のりもあったと思います。しかし、ご本人やご家族、またまわりの多くの人達に支えられながら乗り越えてきたことがメッセージから伝わってきて、とても感慨深いものがありました。

支援学校を卒業して2年が経ち、現在は毎日すだちの家に通われています。毎日一緒に作業していますが、これからも少しでも人間として成長していくようにすだちの家職員一丸となって支援していき、共に成長の喜びを感じていきたいと思います。

自閉症者施設 個室化で快適

福井「すだちの家」増改築

福井市東大味町の自閉症者施設「すだちの家」の増改築工事が完了し21日、現地で落成式が行われた。居住棟を新たに1棟増やしたほか、既存の3棟を含め入所者の部屋を個室化した＝写真。

社会福祉法人すいせんの里が運営し、県内外の30～50代男女30人が入所している。これまでは2人部屋だったが、プライベートに配慮し、より安定した生活が送れるように3棟17室から4棟30室とした。

増築した居住棟は鉄筋平屋建て、建物面積約315平方㍍。16室あり、1部屋の広さは約10平方㍍。全室エアコンを完備し、棟内には女性用入浴室を備える。通路の天井付近にステンドグラスをしつらえ、外光が注ぐつくりにした。外壁には北陸新幹線の車両を模して青のラインを施した。

昨年6月に着工、今年2月下旬に完了し、供用を開始している。総事業費は約1億900万円。

式には関係者約40人が出席し、村田嘉孝理事長は「これから20年、30年と入所者を支え続けていきたい」とあいさつした。

福井新聞（畑祐一郎）

2014 9/13・14

山形研修に参加して

山峡　孝章

9月13日、14日の二日間に渡り山形で行われた一般社団法人日本自閉症協会第23回全国大会に参加してきました。

初めての研修ということもあり、「どんな大会なんだろう」「どのような話を聞けるんだろう」という、楽しみあり、不安ありという感じでの参加でした。

大会では講演、シンポジウムがメインで行われ、初日は本田秀夫氏による「自閉症スペクトラムの理解と支援」と「地域の連携を考える－家庭・福祉・教育・医療・行政との連携を探る」というシンポジウムでした。

講演では幼児期や思春期、成人期に至るまで各時期に起こりえる自閉症の症状と、それに対する理解と支援のあり方等について話されていました。すだちの家では成人の利用者さんとしか関わっていなかったので、幼少期の自閉症の対応や支援のことはほとんど関係がないんだと思っていて、狭い視野での支援をしていたというのに気付かされました。

シンポジウムでは、家庭・福祉・教育・医療・行政それぞれの立場から、新時代の連携のあり方、教育機関や、労働のそれぞれの分野における支援が成果を上げている事例などいろいろな話を聞くことができました。社会につながるようにできるには一般社会に施設の環境を近づけるのが良いという話が印象に残っていて、これからは社会を意識して支援をしていく必要があると思いました。

今後もいろいろな大会や研修に参加してより自閉症の理解を深めていきたいと思います。

第28回全国自閉症者施設協議会熊本大会に参加して

髙橋　祐太

11月14日・15日と2日間に渡り、私は第28回全国自閉症者施設協議会に参加しました。熊本での大会で、私にとって始めての県外での研修となりました。また、私自身始めての全国大会ということで、全く感覚が分からず、緊張と不安で場の雰囲気に飲まれそうになりながらの参加となりました。

リレートークでは、支援する相手の気持ちを捉える療育について、安心感のある接し方や信頼関係を築くといった根本的な支援をするために、忍耐強く愛情を持って接する事が大切であるという事や、本人が分かりやすいように対応の統一が重要であるという話も受けました。さらにTEACCHやTTAPなどの構造化プログラムを使ったアメリカの取り組みから、自閉症の方がやりたい事を根本に置いて、地域と協力して自立を支援していくという話があり、自閉症の方と関わっていく上で、自閉症の方の強み・弱みを理解した分かりやすい支援をしていく事の大切さを学びました。

2日目は、分科会があり、私は第4分科会に参加しました。会の中では、心理劇を通した支援についての報告があり、自閉症の方の内面を少しでも引き出そうという働きや、支援者が私の事を知ろうとしてくれていると相手に伝わるような歩み寄りが大切であると話がありました。その後のリレートークでは、自閉症の方と接する上での刺激の取り除く構造化が大切であること、記念公演では、ライフステージを通じた学校や家族の支援から早期の療育をすることで、生活の中での自己決定の機会を増やしていくことが大切であるという話を受けました。これらの話を通して、私が自閉症の方と関わりあう中で、私本位の支援になっていないか、自己決定ができる様な支援が出来ていたかを改めて確認し、現状出来ていない所をどのように改善していくかを考えるよい機会になったと考えています。

熊本大会を終えて、支援者である私が支援していく上で、柔軟に対応していくことの大切さを感じています。利用者の方により歩み寄る為に、相手が何をしたいのか、私がどうしていきたいのかをしっかり見極めた上で、利用者の方に安心感や共感が伝わり、より良い信頼関係を持てるような支援を目指して行きたいと思います。

すだち会 会員紹介

平成26年度の会費を納入して頂いた方と新たに会員になられた方々です。
ご協力を感謝いたします。

法人会員

敬称略

㈱アイビックス
石本法律事務所
㈱エル・ローズ
大西鮮魚店
笠松物産㈱
上文殊防犯隊
カワイ㈱
㈱キッチンプラント
㈱コアーズ
㈱サプラ福井支店
酒井設備㈱
三優社工業㈱
島本眼科医院
すだち保護者会
㈱センボー建築事務所
㈱大東工業
谷口文栄堂
㈱ダスキン乃し三
㈱ニュー・フェイス
ネッツトヨタ福井㈱
㈱ハヤカワ
東大味町自治会
日野メカニカル㈱
ビックエル株式会社
フク醤油㈱
福井医療㈱
福井キャノン事務機㈱
福井銀行東郷支店
福井県環境保全協業組合
福井順化商事㈱
㈱プリベント
㈱マルツ電波
㈲ミートショップ高島
三船内科クリニック
㈱モリシタ
森川不動産㈱
山崎金属㈱
吉田タイル

個人会員

敬称略

《福井市》

青垣知徳
青木政志
天方みつ子
天方優子
荒谷義昭
伊川宗允
池田笑美子
池田寛子
石田雅俊
出田吏市
伊東俊廣
井上　彪
井澤　茂
石原義紀
今田惣兵衛
今村一枝
今村直治
今村廣志
今村　豊
入江洋子
岩佐真弓
上杉健一
宇佐美一朗
宇佐美賢樹
内田高義
大河たづ子
大城義雄
小川原忠直
大野　勉
大橋佳寿子
大場信孝
大脇美代子
桶屋美智代
織田紀江
小澤勝太
折尾ひろみ
柿畑良子
笠川輝夫
笠松清太郎
笠松敏宏
笠松泰夫
加藤一宏
加藤隆明
加藤弘幸
金牧　廣
川﨑弘美
河原　年
川畑光子
川端永子
木村幸一
木村芳秀
清光是昭
熊谷ふじ子
栗田幸雄
児玉玲二
児玉喜恵子
児玉静子
小藤幸男
小林俊明
小森富夫
後藤千衣子
後藤ふじゑ
近藤正秋
斉藤俊一
坂井俊明
阪本裕美
嵯峨邦郎
志々場修二
清水俊弘
清水浩子
白﨑和子
杉本孫吉
大黒裕實
平　織繪
高村紀子
竹内　修
竹内慶一
竹内静世
竹内祥晃
竹内敏英
滝川利英
武澤英子
多田　伸
田中博和
田村主子
田村孝次
塚谷徹雄
土橋洋子
中川光廣
中川義雄
中西常守
中村　誠
中村順子
鍋島正美
南部和子
西尾一男
野口正人
野坂　学
野坂佳生
野路博古
野路みつ会
野村健二六
野村八重子
長谷川大恭
浜﨑英正
林　修
林　勝義
林　伸行
林　和美
林　慧二
原　千春
春木麻紀子
東村玲子
平鍋順一
深山高雄
藤岡郁雄
藤川泰伸
藤田卓美
藤田満雄
北條千恵子
細田憲一
本間源次
前田剛巳
松井あい子
松田誠治
光野　稔
皆川正道
壬生照泰
壬生佐久子
宮北元栄
村越泰行
村田博信
村田義公
村田嘉孝
村田桂子
村田哲人
村田啓子
村橋鈴代
森岡　勇
森岡美佐子
森岡浩一
森岡享子
森永英子
安川俊彦
安田　亨
安原薫一郎
安村直継
八木澄子
柳沢全之
矢納正人
矢納ともえ
柳川孝司
山口幸男
山﨑栄一
山﨑哲雄
山﨑正弘
山田哲弘
山田継治
山本明徳
山本　武
吉川政夫
吉田順一
吉田登志子
吉田豊信
吉田光宏
吉田義輝
吉村秀郎
葭原徹男

《大野市》

加藤貞義
瀧波武利
野尻皐子
松田康子
松山文代

《勝山市》

澤田美紀子
南茂和子
西浦美智代
藤井勢津子
松浦よしみ
南川民子

《越前市》

石田大蔵
木下宜義
中嶋柳子
林　哲生
藤岡俊美
八耳哲雄

《鯖江市》

青山貴代美
暁　了誠
稲田秀尾
落合忠雄
亀田千代子
下野　節
畑山珪子
林　匡志
廣部和夫
福嶋るり子
山岸靖彦

《坂井市》

川嶋勝士
木谷昌恭
黄倉つや子
齋藤幸子
下田重道
田辺真貴子
西　利喜太郎
野坂俊三郎
林田恒正
保珍良市
山本文雄
横山　孝

《あわら市》

池本順子
川内秀典
菊地治男
小阪清吉
北條顕英

《永平寺町》

荒川周学
内田敏江
源濟英光
児玉性実
山元　攝

《越前町》

水嶋博實

《南越前町》

鈴木和男

《小浜市》

勢間　弘
重面重夫

《敦賀市》

今井和美
福永恒雄

《若狭町》

澤村文明

《県外》

上坂浩二
笠原寿郎
笠原真紀
北野久尚
鎗谷久基
杉本由利子
桒島貞好
棄島五十子
土居満里江
藤田精一郎
森　鶴義
渡辺和子

「すだち会」からのお知らせ

会員の皆様には、日頃よりすだちの家及び支援センターすだちの運営につきましてご支援を賜り、また物心両面からも支えていただいておりますこと厚くお礼を申し上げます。なお平成27年度も、引き続きご入会いただきますようお願い申し上げます。

- 法人会費 1口 10,000円
- 団体会費 1口 10,000円
- 個人会費 1口 3,000円

ご入金方法

郵便局をご利用の場合
郵便振替 00750－4－84619
すだち会

銀行をご利用の場合
福井銀行東郷支店 普通 1009689
すだちの家 後援会

ワクワク すだちだより テキイキ

ありがとうございます 物品深謝	月	ガンバっています 活動報告	ようこそすだちの家へ 来訪者
河下　肇様　（東大味） 竹川　隆利志様　（田治島） 白崎　寿美枝様　（東大味） 石田　外士様 福井南特別支援学校	10月	1日　秋の遠足（ＳＳＴランド・ＢＢＱ） 5日　保護者会清掃奉仕 6日　避難訓練・ＡＥＤ講習会 11日　ふれあい祭り 14日　福祉施設経営セミナー（1名） 15日　体重測定 19日　円山公民館まつり（焼き芋販売） 20日　職員健康診断 21日　内科検診 24日　非常呼集訓練 27日　発達障害支援スーパーバイザー養成研修（31日まで） 29日　強度行動障害支援者養成研修（28日まで） 31日　感染症対策研修会 県　施設指導監査	9日　嶺北親の会（1名）
河下　肇様　（東大味） 木下　道子様　（上細江）	11月	4日　福井南特別支援学校　生徒実習（7日まで） 8日　福井県自閉症支援トレーニングセミナー（9日まで） 12日　体重測定 13～14日　全国自閉症者施設協議会熊本大会（2名参加） 18日　インフルエンザ予防接種・内科検診 21～22日　親子一泊旅行（芦原温泉　美松） 29日　増築棟修祓式	
福井精米㈱様 リカーワールド華様 ホクシス様 白崎　寿美枝様　（東大味） エルディ（株）様 仁愛女子短大 南越特別支援学校 天方　優子様 大西魚店様 福井メタル（株）様 福井南特別支援学校 大谷様　（大村） キトー建築事務所様 足羽東保育園様	12月	9日　検尿・体重測定 10日　血液検査 11日　心電図（対象者） 16日　内科検診 	17日　永平寺町社会福祉協議会
河下　肇様　（東大味）	1月	14日　給食施設巡回指導 20日　内科検診	15日　嶺北特別支援学校 30日　県社会福祉協議会　金田さん
河下　肇様　（東大味）	2月	7日　職員内部研修 13日　成人を祝う会 17日　内科検診 21日　保護者会役員会	
河下　肇様　（東大味） 仁愛女子大学 藤沢　政志様　（東大味） 細井　晴代様 中野　智子様 二宮　かよ子様	3月	11日　体重測定 17日　内科検診 21日　理事会・評議員会・落成式 22日　米パン講習会	19日　細井　晴代様 中野　智子様 二宮　かよ子様

アルミ缶回収にご協力ください

すだちの家ではアルミ缶を回収して潰して
リサイクルする作業に取り組んでいます

連絡はこちらまで…　福井市東大味町9-15　すだちの家（担当／萩原）
☎ 0776（41）3950

お手数ですが、不用になったアルミ缶をすだちの家までお持ちください。ただし、量が多い場合にはご一報ください。なお、スチール缶は対象になりません。

職員の動き

●平成26年11月1日　支援員・野村　隆行（採用）
●平成27年1月31日　支援員・河上　美穂（退職）